



ベネッセ7月模試が返却されました

みなさんの結果はどうでしたか？以下に各教科の講評と、結果を見るにあたっての注意点を載せてあります。自分の結果としっかり照らし合わせて、今後の進路決定に役立ててください。

●☆偏差値について

平均が50というのはみんな知っていますよね。では、この模試でどれぐらいの偏差値があればどれぐらいの大学を目指せるのか。だいたい偏差値70で阪大神大、60で市大府大、55で地方国公立(近畿では和歌山大)が目安です。今回60以上が泉陽で110人ぐらいいます。この学力を3年の冬まで保てば、110人ぐらいが市大府大レベル以上の大学に合格できるということです。しかし、毎年そんなに大人数が市大府大に合格することはありません。なぜなら、いわゆる中だるみの時期に成績が下がっていくからです。

右のグラフを見てもわかるように、1年生の秋ごろから勉強時間に個人差が出てきます。そしてその差はどんどん大きくなるのです。1年生の秋に良い勉強習慣を身につけた人は、中だるみすることなくその後も順調に学習に取り組み、受験生になれます。一方で1年生の前半に勉強できなかった人は、その後も学習時間が増えることなく。。気づいたら受験生になってしまっています。

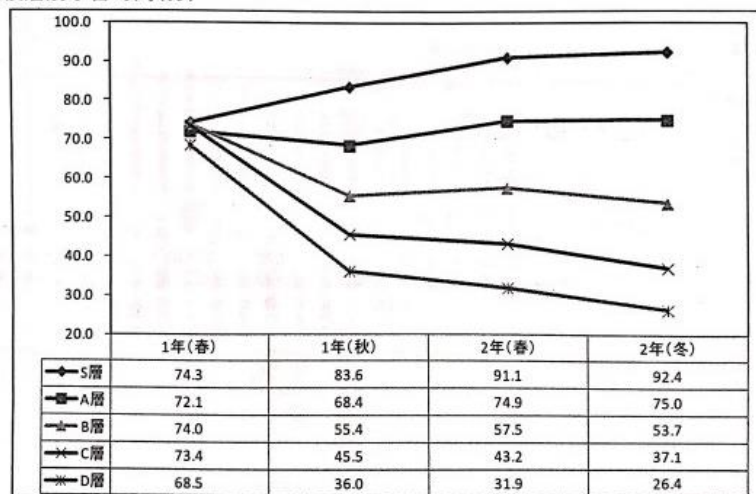
現在の学習習慣は、今後の学習習慣にとっても影響します。夏休みはしっかり自分に必要な量の学習ができたでしょうか。「学校が始まったら本気出す」と考えていた人、学校が始まってもう1週間がたちました。もう一度普段の勉強習慣を見直してみましょう。

●個人票の見方

どうしてもSTEP1の偏差値や順位の数字が気になってしまいがちですが、今はまだ1年生、実はそれよりもSTEP2やSTEP3に注目しましょう。入試は1教科だけが強くても突破できません。泉陽に多いのが数学は出来るが英語が…、またはその逆。STEP2の3教科のバランスを見てください。弱点教科をしっかり把握、補強して下さい。またSTEP3の設問別成績も重要です。弱点分野こそが伸びしろです。今しっかり復習することが全体の成績アップにつながります。ぜひ苦手教科、苦手分野を克服してください。

右のページから続く各教科からのコメントに載せてあるグラフは、設問ごとの得点率について表したものです。棒グラフが全国平均、太い実線で表される折れ線グラフが泉陽の平均の得点率となっています。◆マークより左側が得点率50%以上の問題です。◆マークより左側の問題が解けていれば、基本が身につけているということです。自分が正解した問題に○、不正解だった問題に×を付けてみてください。左のほうについている×は落としてはいけなかった問題です。特に復習しておきましょう。また、難関国公立大学を狙いたい人は、■マークより左側の問題に注目し、できているかどうかを確認してみてください。

全国成績層別学習時間(分)



国語科より

国語の記述模試は、苦手だ。なんていう人が多いかもしれませんね。しかし、あらかじめ選択肢が示された誰かが考えたものよりも、自分で論理を組み立てるほうがやりやすい場合も多いのです。よくある解答にツギハギで自分の頭を通してない解答があります。これでは、いつまでたっても論理を組み立てられません。それよりも粗い解答であっても、自分で組み立てようとしている答えは、伸びしろがあります。現代文では、まず論理の枠組みを思い浮かべ、そこにはめるように考えましょう。小説では、心情の発生するその原因まで踏み込んで説明できるようにしましょう。

〈 裏のページにあるグラフの説明 〉

各設問を全国集計で得点率の高い順番に並べたグラフです。目標の得点率に達するために、正解しておきたい設問を確認し、復習にお役立て下さい。※選択問題は、貴校の受験者数が多い方の大問を選択しています。以下の各大学に合格するための目標得点率を、累積得点率のグラフ上に記号で示しています。

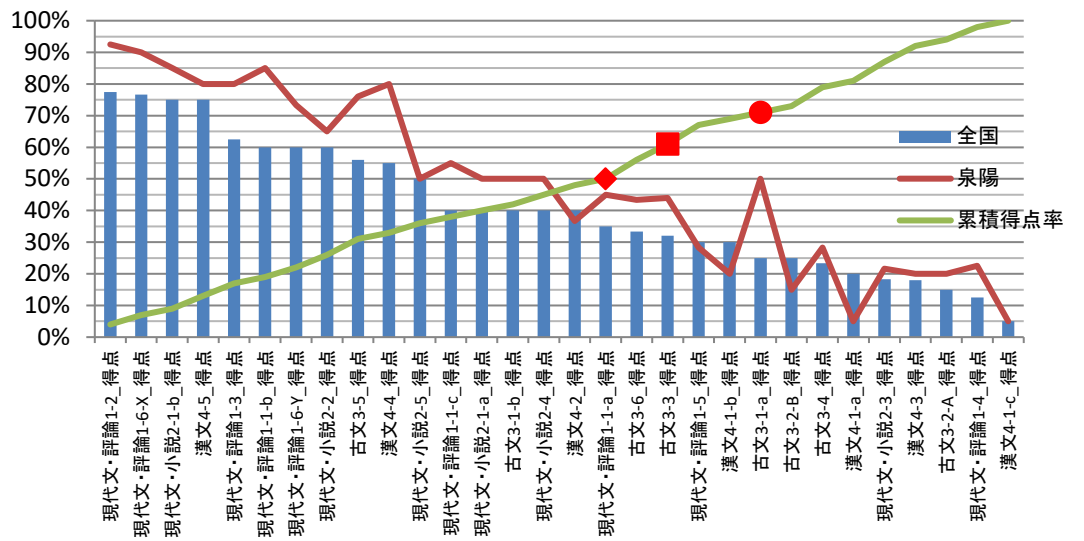
●：東京大、京都大、国公立医学部医学科・・・約70%

■：難関国公立大(一橋大、東工大、旧帝大)・・・約60%

◆：地元国公立大・・・約50%

※各記号より左側の設問が、合格するために正解しておきたい設問です。

古文・漢文では、古文がよくできていました。やはり、やったばかりのことで頭に残っていたのかもしれませんが。古文では、まず基礎固めが何より大事です。基礎は反復が大事なのはいままでもないのですが、続かない人が多いのも事実です。今すぐに結果は出ませんが、単語・文法を固めて数をこなせば、話の内容があるとき面白いようにわかってきて波に乗れるようになります。スピードを求めず、一つひとつ文法事項を確認し、単語の世界を広げていくようにしましょう。漢文の学習も始まりました。ここで勉強したことは、そのまま受験にも直結するのが漢文です。忘れるなんてもったいない。少しでも長期記憶に耐えられるように、定着を図ってください。

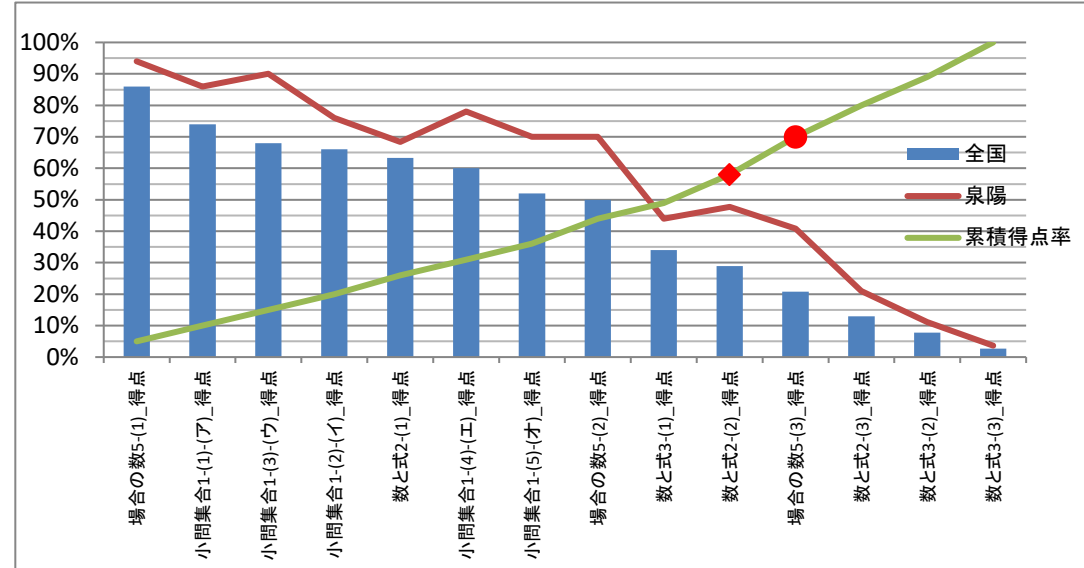


数学科より

前回のスタディサポートとは違い、初の記述模試でしたがどうでしたか？

1「小問集合」はしっかり得点できていました。しかし、2「数と式」の整数部分、小数部分に関する問題は、サクシードや定期テストでもすでに触れていることを考えると、もうちょっとできてほしかったと感じます。

3「数と式」の文章題は、1 ページ丸々に文章が詰まっております、これを読み解くのに苦労した人が多いと思います。共通テストの傾向として、身近なことが題材となったり文章量の多い問題が出題されています。今はまだ基礎力をしっかり身に着ける時期ですので授業でもあまり取り扱っていませんが、3年生になれば「文章を読み解き、その内容を数学の問題に落とし込む力」はとても重要となりますので、こういった模試の機会を利用して段々慣れていきましょう。



前回から引き続きのアドバイスですが、「数学はやればやるだけ成績が伸びる科目」です。公式を正しく理解し、問題を沢山解けば解くほど、段々できるようになってきます。問題を解けるようになったという自信が、テストの点数の向上につながり、みなさんの数学の力がぐんぐん伸びる一番の原動力になります。これからもう一緒に頑張っていきましょう。

英語科より

今回の模試の結果を見て、普段の皆さんの努力が反映されていると感じています。今後、中だるみを起こさないよう、自分の結果をしっかり分析し、弱いところを克服するようにしてください。

「リスニング」の対策は授業中にも行っていますが、毎日聞くことが大切です。ディクテーションを宿題に出していますが、しっかりとできているのでしょうか。授業で一度聞いて、そのまま、、、にはなっていませんか。リスニングの力をつけるために、その日のうちに必ずもう一度聞き、復習の習慣をつけましょう。「長文読解」については、段落のトピックや文章全体の流れを意識しながら読むようにしましょう。長文を読むには語彙力も必要になります。単語帳（ターゲット）のアプリなども上手に活用し、毎日繰り返し覚える習慣をつけていきましょう。

